

環境目的・目標および実績概要

ニチレイグループでは、環境方針に従い、2010年度末までの長期到達目標である環境目的と行動指針、2003年度末までの中期目標を策定し取り組んでいます。(2000年8月策定)

環境方針	目的(2010年度末)	目標(2003年度末)	2001年度実績	2003年度末目標に対する状況	本文関連掲載ページ
環境負荷の低減	廃棄物削減と再資源化 2010年度末までに廃棄物の最終処分量を70%削減。(1999年度を基準年度とする) 行動指針 発生量の抑制 再利用の推進 減量の推進 リサイクルの推進	最終処分量を1999年度比30%削減 食品事業 40% 低温物流事業 10%	1999年度実績に対する削減率 11.9% 食品事業 30.8% 低温物流事業 26.8%増加	達成率 39.7%	P16 ~ P17 P24 ~ P31 (一部)
	地球温暖化防止(CO₂排出量削減) 地球温暖化防止のため、CO ₂ 排出量の削減に努めます。 食品事業については、2010年度末までに生産トン当たりのCO ₂ 排出量(電力、燃料由来)を1999年度比15%削減します。 行動指針 工程改善、システム改善、管理強化などによる効率化 温暖化への影響の小さい燃料への転換 高効率設備、コージェネレーション導入推進	生産トン当たりのCO ₂ 排出量(電力、燃料由来)を1999年度比8%削減(食品事業)	1999年度実績に対する削減率 7.9% CO ₂ 排出量 / 生産トン 409kg-CO ₂ / トン(1999年度 : 444kg-CO ₂ / トン)	達成率 98.8%	P18 ~ P19 P24 ~ P31 (一部)
		物流における排出実態把握	把握方法検討中	-	-
	環境に配慮した商品の提供 環境に配慮した商品の提供に努めます。 行動指針 省資源、廃棄物削減、リサイクル、安全などに配慮した商品の開発 環境へ配慮し、安全性の高い原材料の生産、調達	環境低負荷商品販売 購買ガイドライン検討、策定 LCA活用検討	勉強会の実施 包材重量削減、使用後の廃棄物低減商品検討 ガイドライン、基準検討中	-	P21
	環境への影響の大きい化学物質に適切に対応します。 行動指針 適正管理、必要であれば迅速処理を行い、環境への影響を最小限に抑えます。	低温物流事業で使用する焼却炉を停止(2001年度上期)。加工食品事業についても停止検討、計画策定	低温物流事業の全焼却炉を停止(上期中)	達成率 100%	P20
		PCBの適正保管、管理徹底 処理計画検討	届出、保管状況確認実施	-	P20
		オゾン層の破壊可能性の低い冷凍システム検討 廃棄時フロン ₁₂ の適正処理徹底	システムの継続検証実施	-	P20
本社・支社オフィスにおいても環境保全に積極的に取り組みます。 行動指針 循環型社会形成への一助としてグリーン購入を推進 省資源、省エネルギー、廃棄物削減・リサイクル活動の推進	グリーン購入ガイドラインの充実および啓蒙活動 廃棄物削減・リサイクル、省エネルギーに関する啓蒙活動	本社・支社・支社管轄事業所でのグリーン購入率 名刺 67% OA用紙 43% 社用封筒 71% その他文書保存箱 100%	-	P22	
環境マネジメントシステム構築	各事業所での環境マネジメントシステムの構築 各事業所において環境マネジメントシステムを構築し、各事業所ごとの個別重要課題に的確に対応するとともに、継続的改善を図ります。 行動指針 環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001認証取得、または準拠したシステムの構築	5食品工場でのISO14001取得を行い取得工場を8工場とする。 ー箇所は同一敷地内の低温物流関連事業所同時取得	2工場取得完了(8工場中5工場で取得完了) 2工場にて2002年度取得に向け活動開始。 ー箇所は同一敷地内の低温物流関連事業所同時取得	達成率 62.5%	P10 ~ P11
	主要食品工場(原則年間生産量3000トン以上)での環境マネジメントシステム構築と認証取得計画検討	7工場を訪問、構築状況の確認	-	P10 ~ P12	
環境法規遵守	環境法規遵守 遵法性を常に確認すると共に新規法規制等にも迅速に対応します。 行動指針 監査、自己チェック等により遵法性を定期的にチェック 法改正、新規法規制情報を確実に入手し、迅速に対応	社内監査時のチェック実施	監査室による社内監査時のチェック実施	-	P12
		法改正、新規法規制情報に関するコミュニケーション強化	インターネットによる新規法改正情報取得開始(一部事業所)	-	P12

用語解説

PCB
 有機塩素化合物であるポリ塩化ビフェニルの略。不燃性、絶縁性にすぐれていた為、熱媒体、絶縁油、塗料等に使用されていた。1968年に「カネミ油症事件」がおき、その毒性の強さが問題となった為、1972年に製造は中止された。安定性が高く自然環境や生物の体内で分解されず蓄積しやすい。

ISO14001
 国際標準化機構(International Organization for Standardization)が発行した環境マネジメントに関する国際的な仕様。

環境マネジメントシステム
 企業活動において、どのような影響を環境に与えているかを評価・分析し、その上で継続的に改善を行っていくシステム(ISO14001はその仕組みのひとつ)。